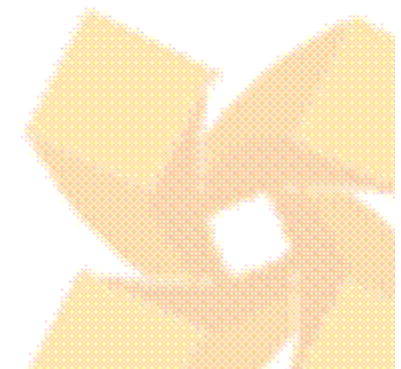




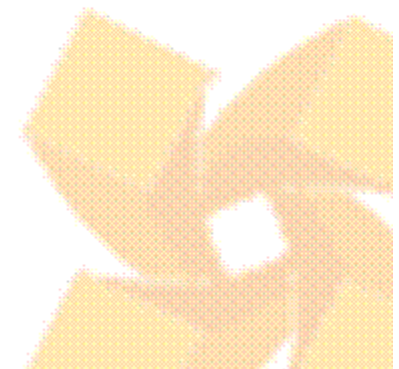
# OSS「超」入門 by OBCI

OBCI事務局

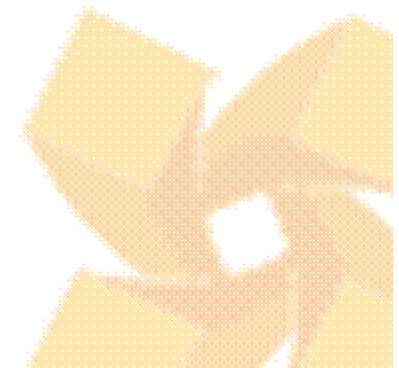
- オープンソースの概要を理解する。
- オープンソースのメリットを理解する。
- 主要なオープンソースを知る。
- オープンソース利用時の注意点を理解する。



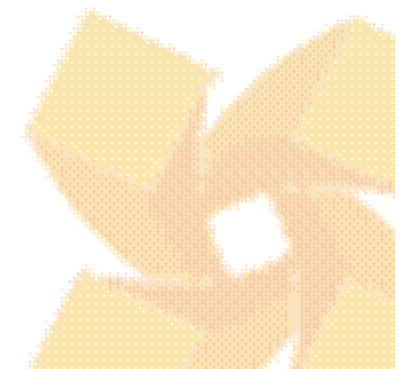
## ● OSS「超」入門



## ● オープンソースとは？



- 「オープンソース・ソフトウェア」の略
  - ▶ 「オープンソース・ハードウェア」というものもある。
  - ▶ 一般的に「オープンソース」といえば、「オープンソース・ソフトウェア」を指す。



## ● オープンソースの定義

- (1) オープンソース・ライセンスには、再頒布に関する制限が設けられていてはならない
- (2) プログラムにはソース・コードが添付されていること。また、ソース・コードでの頒布も許可されていること
- (3) オープンソース・ライセンスでは、ソフトウェアの改変、派生ソフトウェアの作成、また派生元ソフトウェアと同じライセンスの下での再頒布を許可すること
- (4) ソース・コードと一緒に、バイナリ構築の際にプログラムを改変するための「パッチ・ファイル」を頒布することを認める場合に限り、オープンソース・ライセンスによって、改変されたソース・コードの頒布を制限することができる
- (5) オープンソース・ライセンスは、特定の個人やグループを差別してはならない
- (6) オープンソース・ライセンスは、特定分野でのプログラムの利用を制限してはならない
- (7) オープンソース・ライセンスによってプログラムに付与された権利は、そのプログラムが再頒布された者すべてに等しく認められなければならない、何らかの追加的ライセンスに同意することを必要としてはない
- (8) オープンソース・ライセンスは、特定製品でのみ有効なものであってはならない
- (9) オープンソース・ライセンスは、そのライセンスが適用されたソフトウェアとともに頒布される他のソフトウェアに制限を課してはならない
- (10) オープンソース・ライセンスは、技術的に中立でなければならない

※<http://www.itarchitect.jp/beginners/-/11250.html> より抜粋

## 簡単に言うと・・・

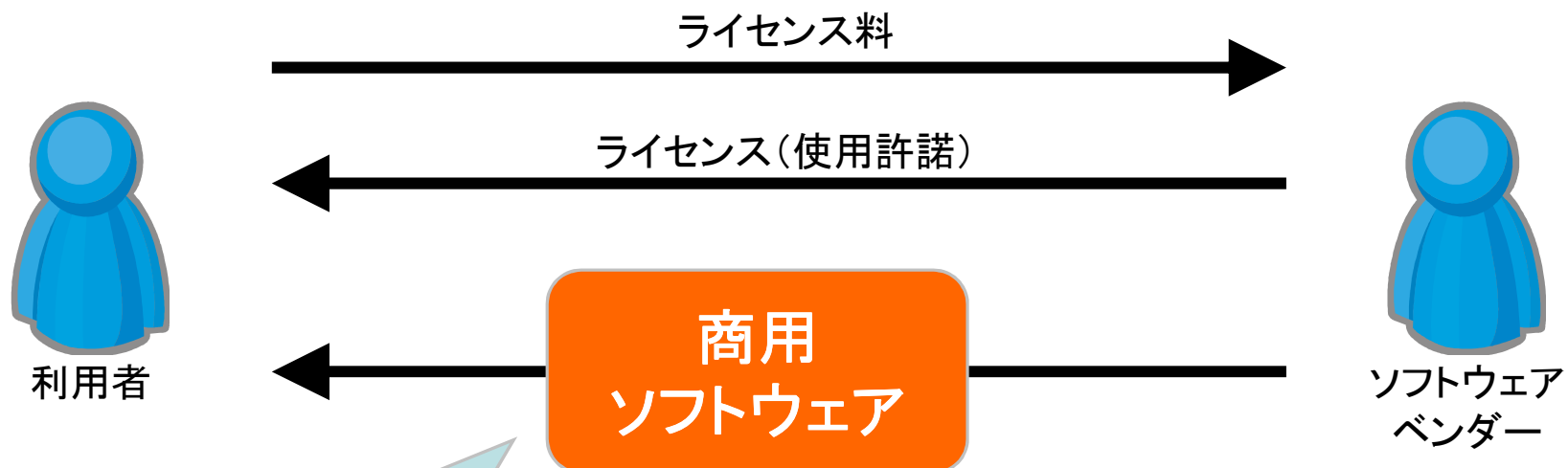
- ソースコードが、インターネット等で公開されているソフトウェア。
- 基本的には無償で利用できる。
- 近年、その機能や性能、品質が商用製品と比較しても遜色ないレベルになってきたことから、普及が促進している。

## ■ オープンソースの特徴

- ・再配布の自由（無償である）
- ・ソースコードの公開（誰でも見れる）
- ・改変の自由（誰でも改変できる）
- ・“コミュニティ”と呼ばれるボランティアにより開発されている。
- ・非常に多くの利用者の手によってテスト&改善がされ、機能と品質が向上する。
- ・基本的に、サポートが無い。自己責任により使用する。

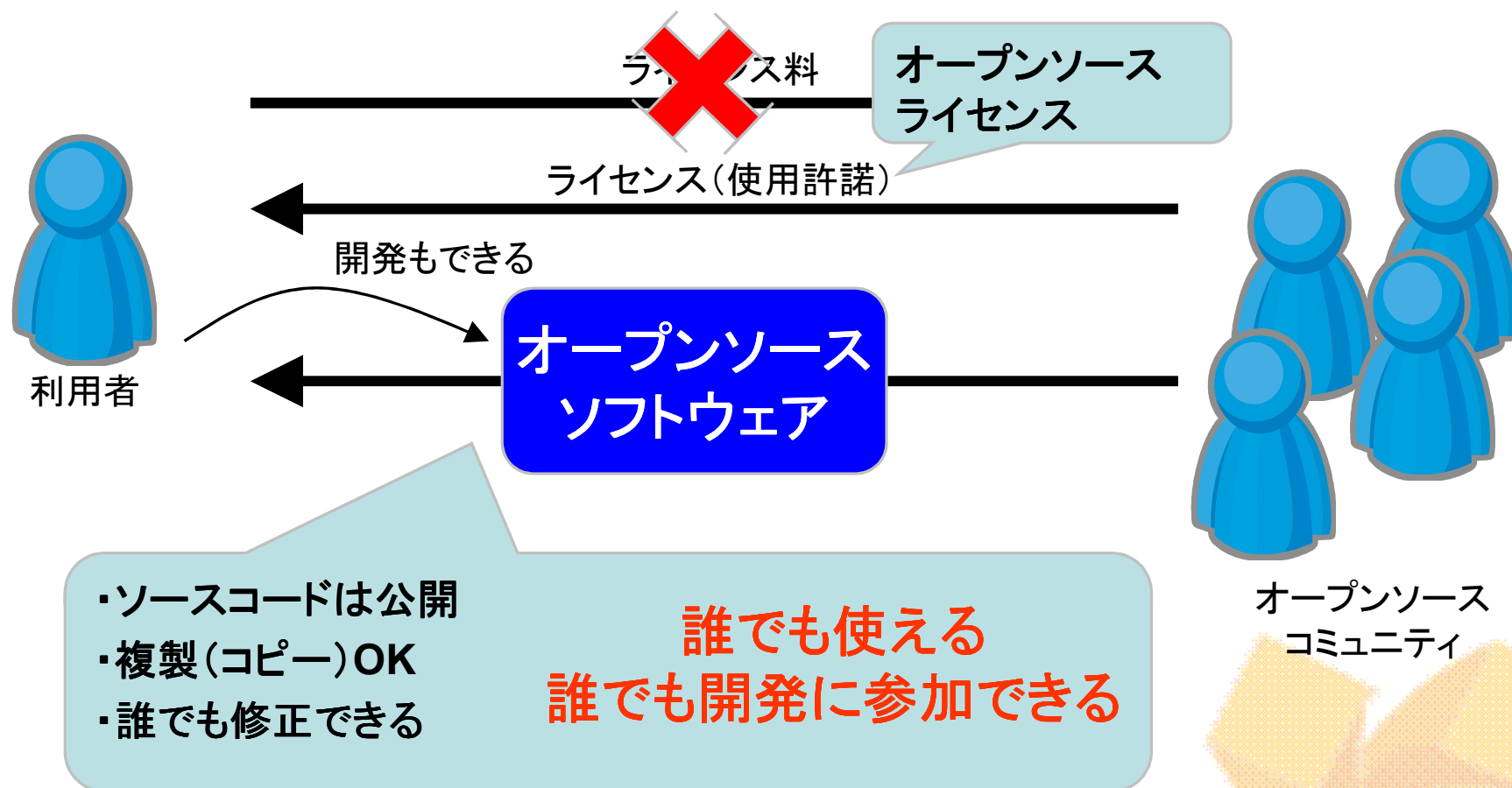
カテゴリー	商用製品	オープンソース
OS	Windows (Microsoft) HP-UX (HP)	RedHat Enterprise Linux CentOS
Webアプリケーションサーバ	WebLogic (Oracle) WebSphere (IBM)	Tomcat JBoss
データベース	Oracle (Oracle) SQL Server (Microsoft)	MySQL PostgreSQL
シングルサインオン	HP IceWall (HP) Tivoli Access Manager (IBM)	OpenSSO
企業情報ポータル	SharePoint (Microsoft) INSUITE (ドリーム・アーツ)	Liferay
情報分析	BusinessObjects (SAP) Hyperion (IBM)	Pentaho JasperSoft BI Suite

## ● 商用ソフトウェアの場合



- ・ソースコードは極秘  
→ 真似されてしまうので
- ・複製(コピー)禁止  
→ タダで使われてしまうので
- ・ソフトウェアベンダーだけが修正できる

## ● オープンソース・ソフトウェアの場合



- 「オープンソース・コミュニティ」
  - ▶ 一般的な「コミュニティ」は、「共同体、集団、地域社会」
- 特定のオープンソース・ソフトウェアの開発や普及活動を行うことを目的とした、人々の集まり
  
- 開発コミュニティ
  - ▶ オープンソースを開発するコミュニティ
  - ▶ 企業がコミュニティを主導する場合もある
  - ▶ (例) MySQL (サン)、JBoss (RedHat)
  
- ユーザーコミュニティ
  - ▶ オープンソースを利用するにあたり、情報交換を行ったり、日本語ドキュメントの作成を行ったりするコミュニティ

- 「オープンソース・ライセンス」
  - ▶ 一般的な「ライセンス」は、「使用する権利、利用許諾」
- オープンソースの利用許諾であり、使用するにあたって守るべき条項が書かれている。
- 主要オープンソース・ライセンス

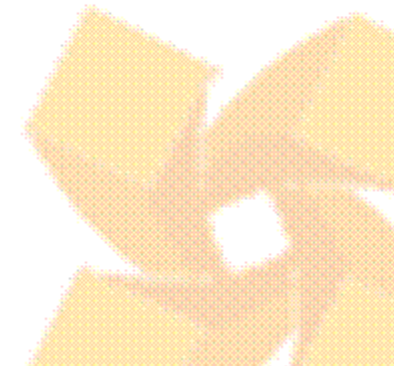
	ソース公開	再配布	改変	伝播	保証	代表的OSS
GPL	要※	OK	OK	する	なし	Linux
LGPL	要※	OK	OK	する※	なし	JBoss
BSD	不要	OK	OK	しない	なし	PostgreSQL
Apache Software License (ASL)	不要	OK	OK	しない	なし	Apache

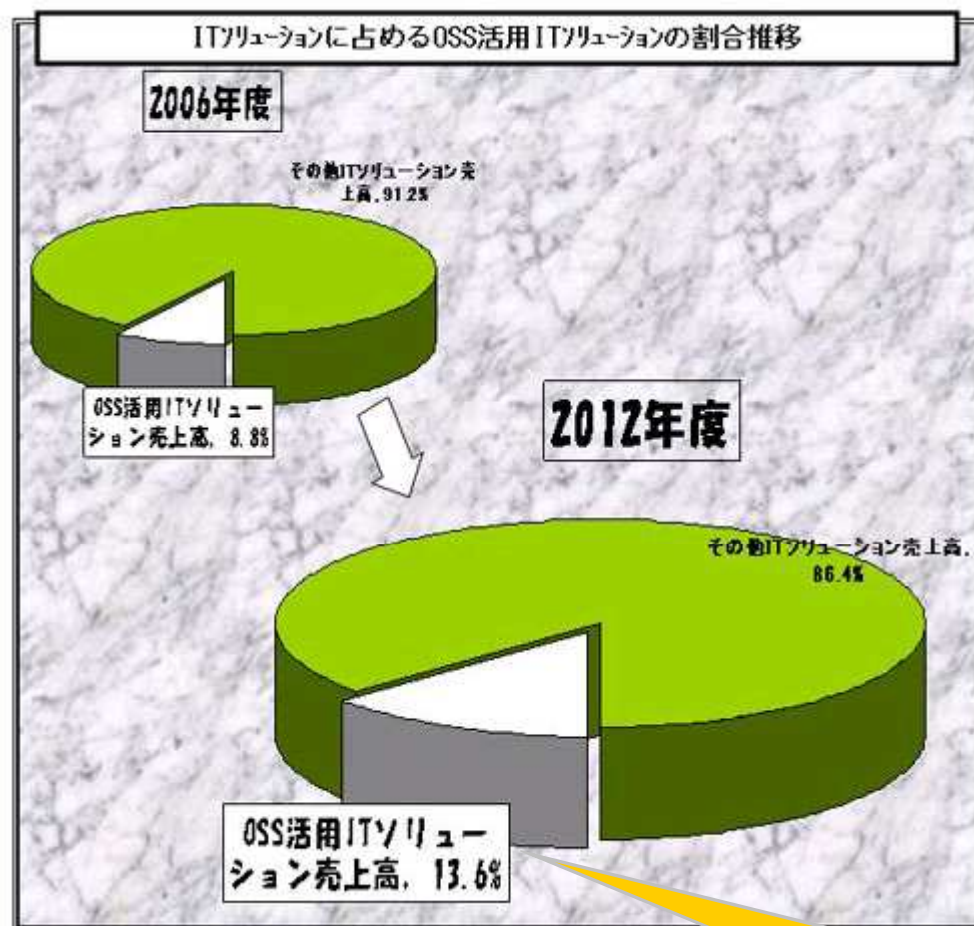
※ソースコードの公開は、配布をした際に義務が生じる。

※LGPLのソフトウェアを動的に呼ぶ場合には派生しない。

(注意が必要なケース)

- オープンソースを使ったソフトウェアを、他に配布する場合。(ex: 製品として販売する)
  
- 自社システムで利用する場合は、それほどセンシティブになる必要はない。

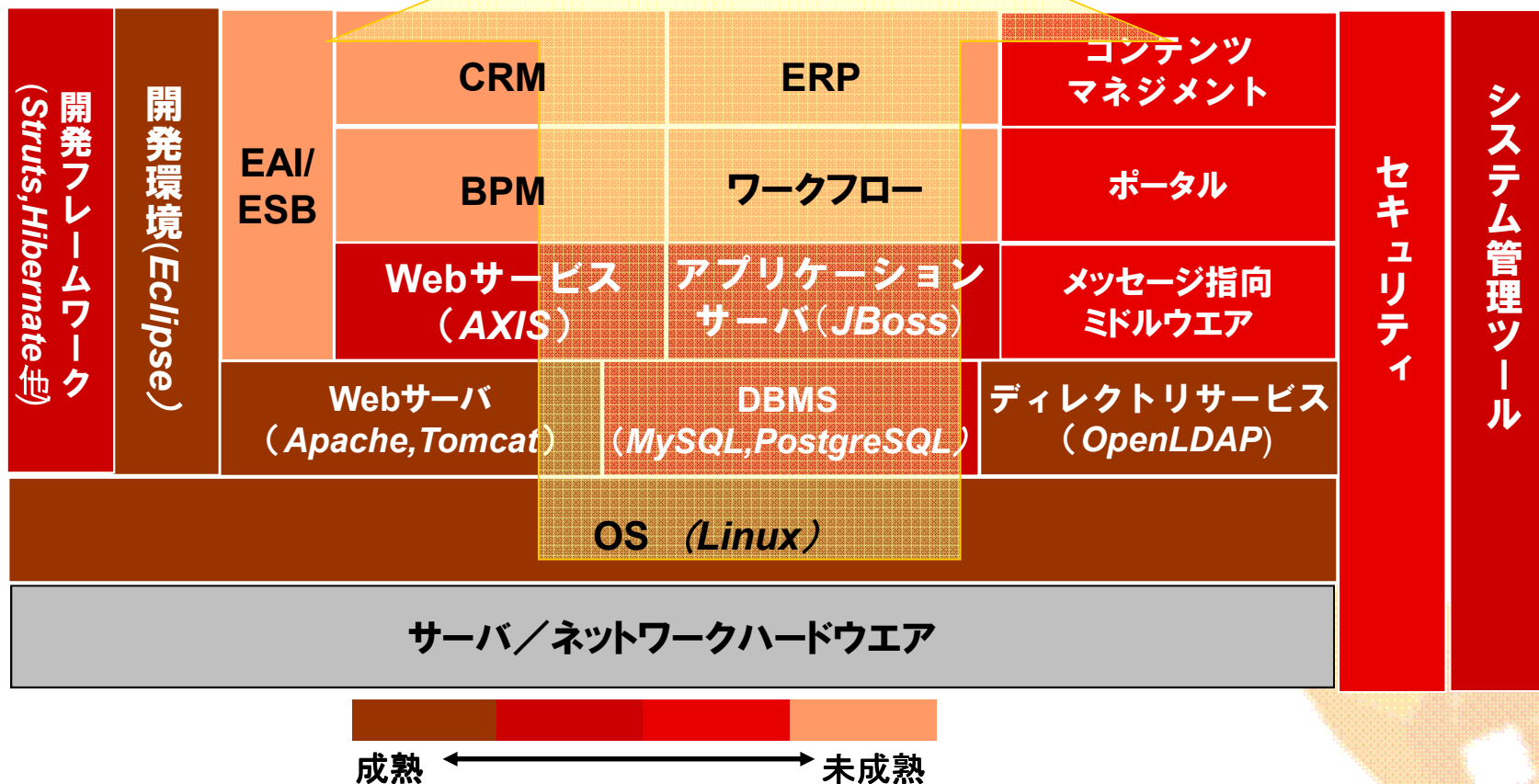




- 2007年度のOSS活用ITソリューション市場規模は1兆円を超えた。
- 今後も年9%の成長を続ける。
- 基幹系システムが市場の成長をリードする。

**1兆6170億円**

- ・ OS (Linux)、Webサーバ (Apache)、開発環境 (Eclipse) はほぼ成熟。
- ・ APサーバ (JBoss)、DBMS (MySQL他) も商用製品のシェアを次第に奪いつつある。
- ・ 業務アプリではSugarCRM (CRM)、osCommerce (EC) などがよく使われている。



- **大手証券会社 オンライントレードシステム**
  - ▶ 口座数：数百万、サーバ台数：数十台
  - ▶ 利用OSS：JBossAS、JBossEAP、MySQL、Linuxなど
  - ▶ 長期保守、サポート品質向上の観点から、OSSへ移行
- **大手金融機関 資産運用業務システム**
  - ▶ データ量：1TB、性能：200TPS
  - ▶ 利用OSS：JBossEAP、MySQL、Linuxなど
  - ▶ 期間DBをオープンソースDBMSであるMySQLで構築
- **大手証券会社 基幹業務システム**
  - ▶ サーバ台数：数十台、性能：130TPS
  - ▶ 利用OSS：JBossAS、Linuxなど
- **銀行向け共同利用型投信販売システム**
  - ▶ サーバ台数：数十台、データ量：約30TB
  - ▶ 利用OSS：JBossEAP、Liferay、MySQL、Linuxなど

### ● 通信会社 ID決済システム

- ▶ ID数：数百万、サーバ台数：数十台、データ容量：6TB、性能：500TPS → 3920TPS（将来目標）
- ▶ 利用OSS：Tomcat、PostgreSQL、Postfix、Linuxなど

### ● 電力会社 配電システム

- ▶ 利用OSS：JBossEAP、PostgreSQLなど
- ▶ 10年間の長期サポートを提供。

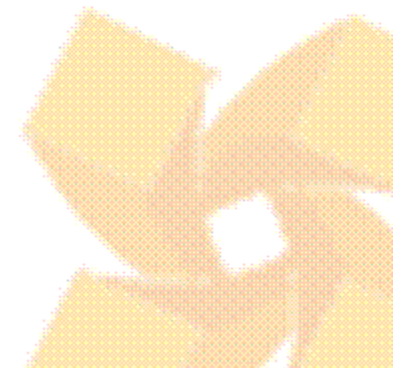
### ● 大手製造業 グローバル統合認証システム

- ▶ 社内システムとクラウドサービスとのシングルサインオン
- ▶ ユーザ数：15万人
- ▶ 利用OSS：OpenSSO (AM)、Tomcat、Linuxなど

### ● 大手製造業 カスタマーポータル

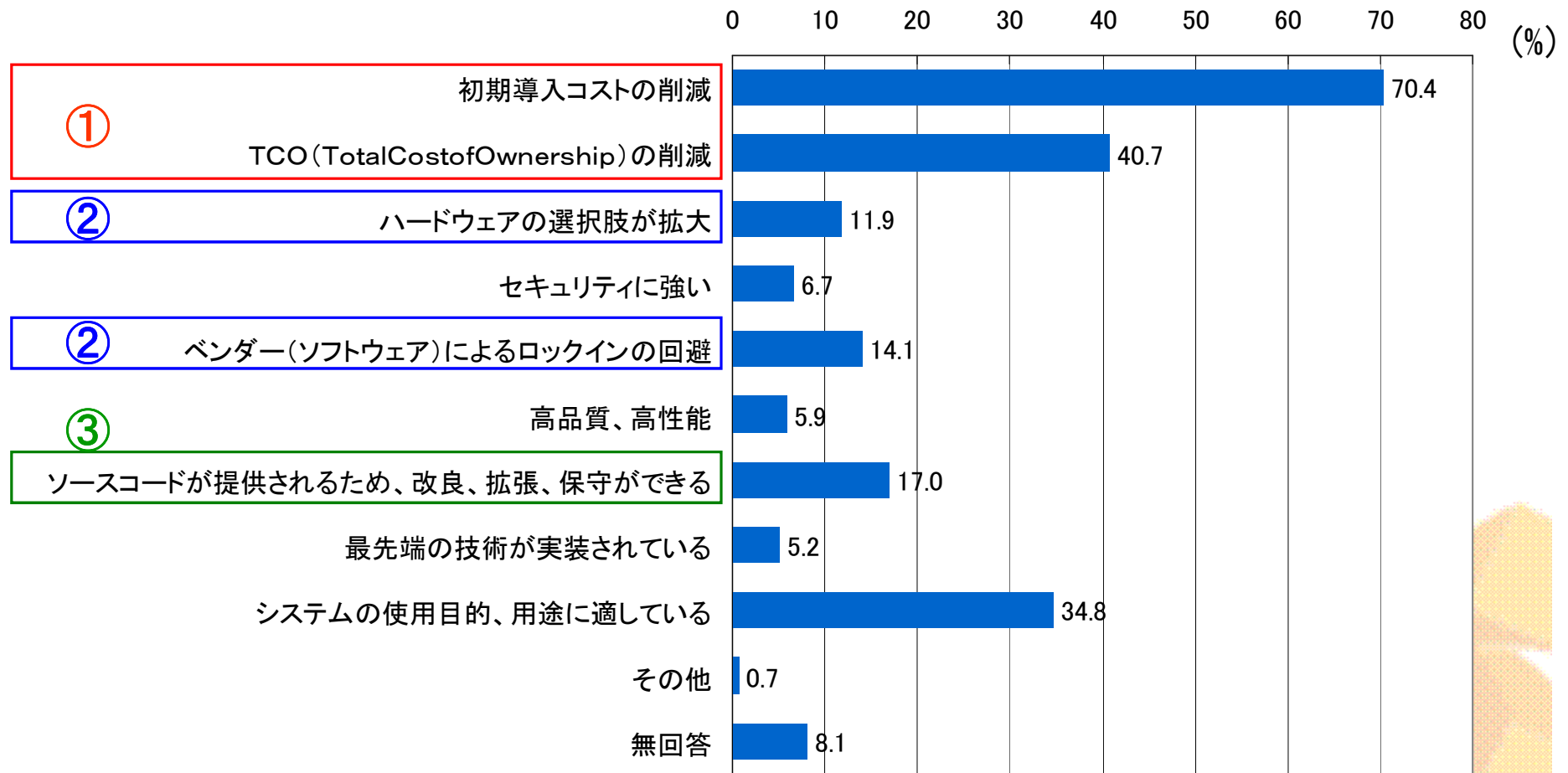
- ▶ 顧客企業への情報共有基盤の提供
- ▶ ユーザ数：300万人（将来）
- ▶ 利用OSS：Liferay、OpenSSO、JBossAS、MySQL、Linuxなど

●なぜ、オープンソース？

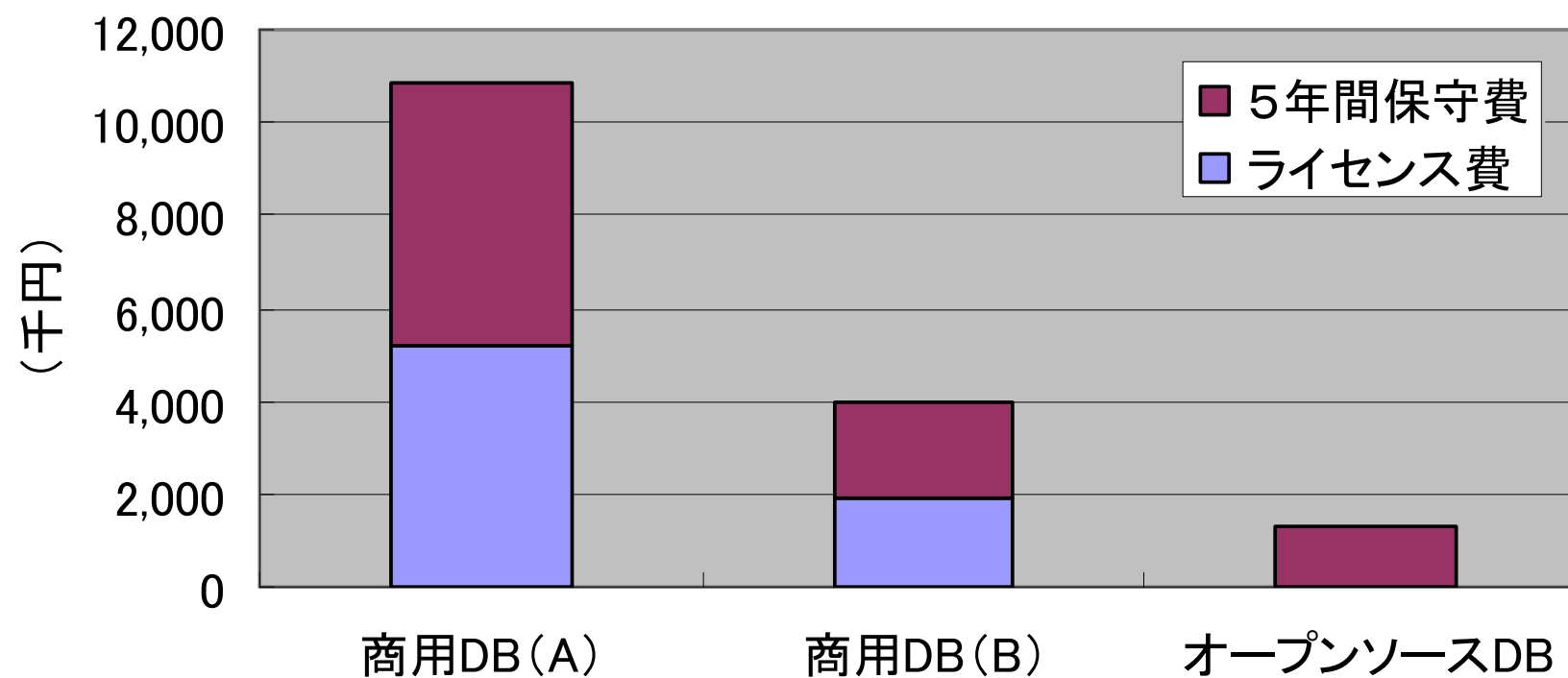


ユーザ企業によるIT利用動向調査(2007年 野村総合研究所)

## ●「初期導入コストの削減」「TCOの削減」など、コスト削減が主目的 (n=303)



## 商用DBとオープンソースDBとの5年間コスト比較



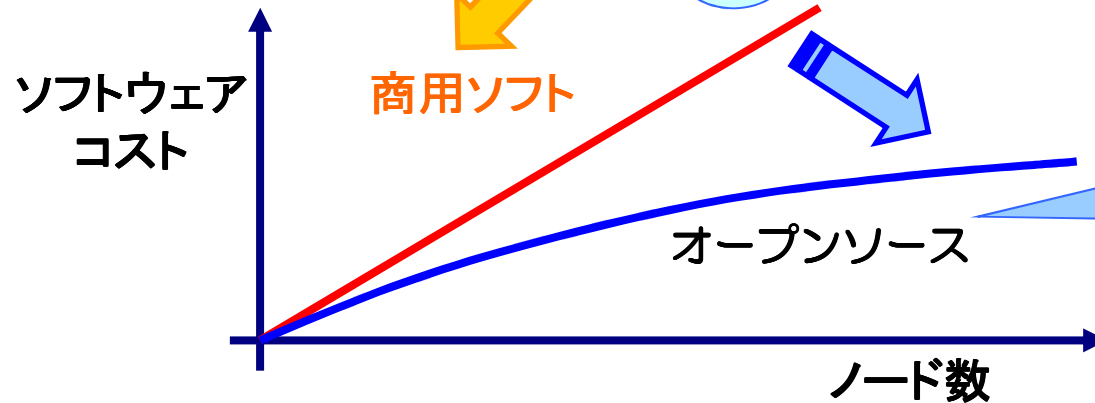
## スケーラブルなシステム構成



Q.「IT部門が2006年に取り組むべき、主要プロジェクトは何ですか？」 重要度 大 ← → 小

ソフトウェアコストを何とか減らしたい	36%	37%	19%	8%
セキュリティ環境を劇的に向上させたい	28%	35%	26%	11%
アプリケーション統合を改善したい	28%	36%	25%	11%
ソフトウェアの実装を標準技術ベースに移行させたい	14%	34%	28%	24%
付き合いアプリケーションベンダーを減らしたい	11%	19%	26%	44%
付き合いソフトウェアインフラベンダーを減らしたい	10%	20%	32%	38%
アプリケーションサポートフォリオ管理を導入したい	9%	18%	35%	38%

ハードウェアのコストは下がっても、ソフトウェアのコストが負担に。



オープンソースの有償保守サポートサービスは、ボリュームディスカウントが大きい。大規模なシステムほど、オープンソース導入の効果は高い。

出所) Forrester Research: : March 2006, Data Overview "Software and Services in Large Enterprises"  
「米国企業に所属するソフトウェア/サービスの導入に関する意思決定者(603人)に対するアンケート」(2005年11月)

## オープンソース導入の理由

### お客様

### 課題

### ソリューション

インターネットシステム  
・ECサイト  
・チケット予約サイト

- ・サーバ台数が多く、ソフトウェアライセンス費の負担が大きい
- ・ビジネス拡大にあわせて柔軟にサーバ増設をしたいが、ソフトウェアライセンス費がネック。
- ・サーバ増設時の工数を削減したい。
- ・デファクトスタンダードな技術を使いたい。

- ・オープンソースによる高いコストパフォーマンス。
- ・オープンソースによる、デファクトスタンダード、オープンスタンダードなインフラの実現。
- ・オープンソースによるボリュームディスカウント。

ASPベンダー  
SaaSベンダー

グローバル企業  
外資系企業

- ・ITインフラは本国(US)と同じにしたい。
- ・世界中どこでもサポートを受けられるミドルを使いたい。

- ・オープンソースであれば、世界各国でサポートを受けられる。

大手企業  
(社内ITインフラ標準化)

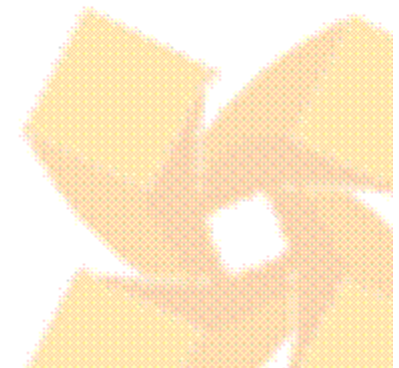
- ・デファクトスタンダードな技術を使いたい。
- ・ブラックボックスな技術は避けたい。

- ・オープンソースによる、デファクトスタンダード、オープンスタンダードなシステムインフラの実現。

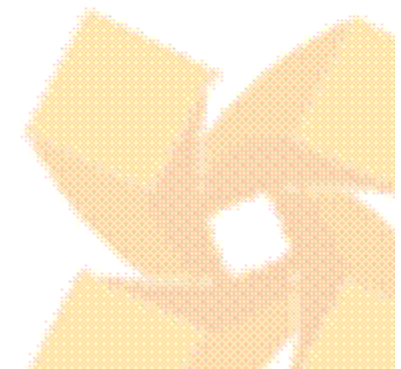
公共(地方自治体、通信)

## オープンソースのメリットは？

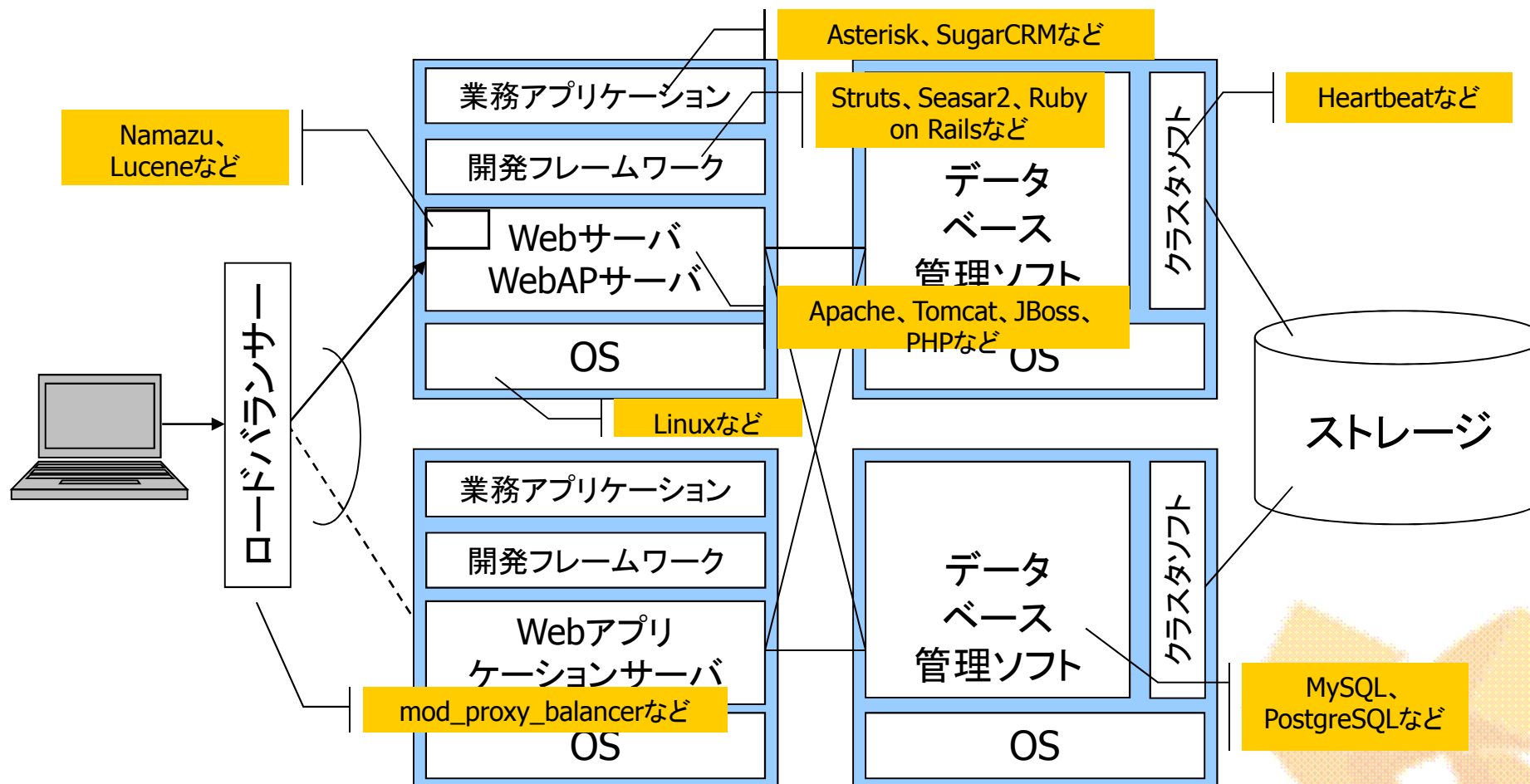
- ソフトウェアコストの削減
- ベンダーフリー
- 世界中で利用可能
- 長期間利用



● どんなオープンソースがあるの？

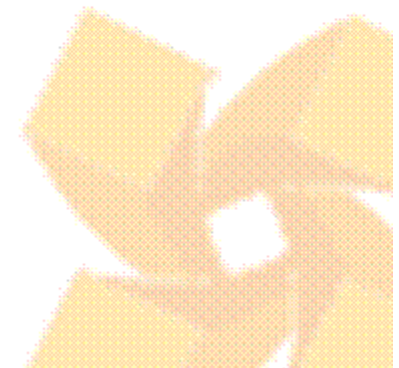


ほとんどの領域で、オープンソースが利用可能。



✓Oracleなど商用データベースや、商用クラスターソフトとの組み合わせも、もちろん可能。

● オープンソースは大丈夫？



### オープンソースの3つ（+1）の誤解

#### ● オープンソースは品質が悪い？

- ▶ 誤解です。
- ▶ むしろ、商用製品よりも品質が高いケースもあります。
- ▶ 大規模システムへの導入実績も豊富です。

#### ● オープンソースは実は高い？

- ▶ 誤解です。
- ▶ 利用ノウハウがない場合は、有償サポートサービスを活用することで、リスクを低減しつつ、確実にソフトウェアコストを削減できます。

#### ● オープンソースを扱えるエンジニアがいない？

- ▶ 誤解です。
- ▶ 商用製品を扱えるエンジニアであれば、オープンソースも簡単に扱えます。
- ▶ ソースコードレベルのサポートは、有償サポートサービスのご利用をお勧めします。

#### ● オープンソースは自己責任？

- ▶ 様々な有償サポートサービスがあります。有効に活用しましょう！

## ▼ 正会員企業 (50音順)

9社



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



株式会社 電通国際情報サービス



株式会社 インターネットイニシアティブ



日本アイ・ビー・エム株式会社



SRA OSS, Inc 日本支社



株式会社 野村総合研究所



NTTコムテクノロジー株式会社



株式会社日立ソリューションズ



株式会社 タイムインターメディア

## ▼ 一般法人会員

36社

株式会社SBI証券(旧SBIイー・トレード証券)、住友電気工業株式会社、第一生命保険株式会社、日本電信電話株式会社、NTTオープンソース ソフトウェアセンタ、三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社、株式会社アイエイエフコンサルティング、株式会社アイティブレン、株式会社I2C、株式会社アクティス、株式会社アーティスティックス、株式会社オークニー、株式会社オルト株式会社ガイア、株式会社クライム、有限会社クラフト、クリエーションライン株式会社、株式会社KSKソリューションズ、コアネットインタナショナル株式会社、株式会社コムカル、株式会社ザクロ、株式会社GIM、株式会社ゼンク、タヌキソフトウェア有限会社TIS株式会社、テンプスタッフ・テクノロジー株式会社、東京アプリケーションシステム株式会社、株式会社トゥルワン、ハブ日立ビジネス株式会社、日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社、ヒーローメタジャパン株式会社、株式会社ビッグツリーキャピタル株式会社ブレインチャイルド、株式会社フューズネットワーク、ライトイヤーズ株式会社、株式会社RYUS、ワークブレインジャパン株式会社

【ご賛同いただいているオープンソースコミュニティ】

日本JBossユーザ・グループ、日本MySQLユーザ会、日本PostgreSQLユーザ会、日本JasperServerユーザ会

▼ 一般会員

3,799名

※2011年3月2日現在






1

OBCIのWEBサイト(<http://www.obci.jp/>)を2008年7月26日に公開し、以下の会員獲得活動を実施しております。



The screenshot shows the OBCI website homepage. At the top left is the OBCI logo and name. A navigation menu includes HOME, OBCIについて, 会員限定情報, イベント情報, OBCI運営情報, 入会案内, and OBCI正会員専用ページ. A dropdown menu is open showing 'ようこそ, OBCI システム管理者さん!'. Below the navigation is a main banner for 'オープンソースビジネス推進協議会' (Open Source Business Creation Initiative) with the text 'OBCIは オープンソースの力で ユーザー企業のビジネスに 新たな価値をご提供します。'. A sidebar on the left contains a '一般会員入会のご案内' (General Member Registration Guide) and a 'HOME' menu with 'Topics' and 'OBCIについて'. The main content area features a date '2011年3月4日(金)、5日(土)' and an announcement for the 'オープンソースカンファレンス2011 Tokyo/Spring' (Open Source Conference 2011 Tokyo/Spring) with details on dates, location, and topics.

## Main Contents

-  OBCIについて
-  会員限定コンテンツ (事例・プレミアムセミナー情報)
-  イベント情報
-  入会案内
-  正会員専用コンテンツ

# OBCI正会員企業 サービス紹介

## 「ECavail」の仕組み



## OSS構築サービス、保守サービス

### Open Cube for Enterprise

増え続けるOSSシステムの保守をCTCの「トータルオープンソースサポート」で効率化!

今日、インターネットや企業の様々なシステムでOSSが利用されています。企業の基幹系システムや情報系システムでOSSを安心して利用するにはサポートサービスは欠かせません。CTCでは長年培ったオープン系システムのサポートノウハウを生かし、OSSサポートサービスを提供しています。「Open Cube for Enterprise」では、標準的なOSSサポートサービスに加え、お客様のシステム運用を考慮したサポートサービスをトータルで提供いたします。

OSS構築サービス

トータルコストダウン

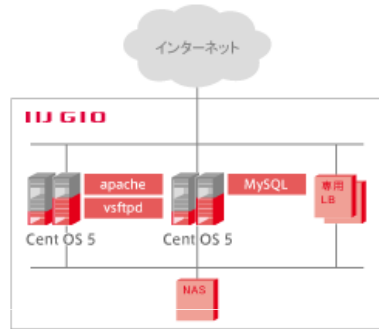
OSS保守サービス

### サービス概要




OSS構築サービス	OSS保守サービス
客先ヒアリングから導入・導入後のサポート、対応するインストールおよび設定サービスを提供します。	対象OSSプロダクトについて、下記内容の保守サポートサービスを提供します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様へのヒアリング</li> <li>OSSインストール・設定サービス</li> <li>OSS構築時 Q&amp;A サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様、設定に関する Q&amp;A</li> <li>障害切り分け、調査</li> <li>ソースコードレベルの調査</li> <li>回避策の提供</li> </ul>

# 日本のクラウド、IJ GIO

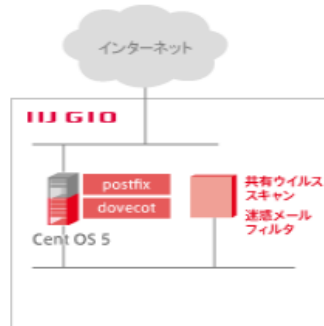
## LAMP Webプラン






「ロードバランシングWebプラン」に、2台の仮想サーバを追加し、データベースサーバとして構成したプランです。

-  お客様にてログイン可能な仮想サーバ。V10～V160から選択が可能。
-  オプションとしてご提供するアプライアンス。お客様からのログインは不可。
-  パッケージに応じて設定されるソフトウェア。

## セキュアメールプラン



メールサーバとしてSMTP・POP・ウイルス対策・迷惑メール対策を組み込み、設定済みの状態でご提供するプランです。

-  お客様にてログイン可能な仮想サーバ。V10～V160から選択が可能。
-  オプションとしてご提供するアプライアンス。お客様からのログインは不可。
-  パッケージに応じて設定されるソフトウェア。

# 【SRA OSS, Inc. 日本支社】サポート・保守、トレーニングまで幅広いサービスでお客様ニーズにお答えします。



## ■ パッケージソフトウェア

PowerGres	Sylpheed Pro	libTextConv
<p>オープンソースデータベースのスタンダード PostgreSQL を Windows<sup>®</sup> で。</p> <p><b>PowerGres on Windows</b></p> <p>オープンソースデータベースのスタンダードとも見える PostgreSQL を、Windows 上で運用可能、簡単な GUI 操作でデータベース作成や基本構成の設定などを実行できます。</p>	<p>オープンソースデータベース PostgreSQL を Linux システム上で簡単運用。</p> <p><b>PowerGres on Linux</b></p> <p>機能も実績も豊富な PostgreSQL をベースに、専用の管理ツール、各種監視情報閲覧ツールを付属。Linux システム上で、初心者の方にも容易にデータベースの管理が可能です。</p>	<p>PostgreSQL をさらに機能強化。高信頼データベースを実現。</p> <p><b>PowerGres Plus</b></p> <p>PostgreSQL をベースに、管理ツールの機能をよりいっそう強化。ハードウェア異常からのデータ保証や障害からの復旧ツールなど信頼性を高める機能を追加し、安心運用を可能にしています。</p>
<p>Sylpheed Pro とは、オープンソースソフトウェアのメールソフトである Sylpheed に機能拡張を行い、全文検索機能を追加した製品です。</p> <p><b>Sylpheed Pro</b></p> <p><b>特長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのメールの本文からキーワードを言んだものを瞬時に検索</li> <li>全文検索インデックスをリアルタイムに更新</li> <li>Microsoft Office、PDF などの添付ファイルの内容を検索・表示</li> <li>アーカイブ内のファイルの内容を検索・表示</li> </ul>	<p>libTextConv は Microsoft Word や Excel などのバイナリファイルをプレーンテキストに変換する C 言語用のライブラリです。</p> <p><b>libTextConv</b></p> <p><b>特長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライブラリとして実装しているため、プロセス生成なしで高速に実行できます。</li> <li>全文検索などの用途に利用できます。</li> <li>コマンドや関数などのインターフェースで簡単に使うことができます。</li> </ul>	

## ■ サポート

PostgreSQL / PowerGres サポート&保守サービス	OSS サポートサービス	PHP4 セキュリティ保守サービス
<p>2010年4月より、メニュー改定を行い、24時間365日のサービスを開始しました。</p> <p><b>サービス内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプデスク             <ul style="list-style-type: none"> <li>対象ソフトウェアの使い方につきお問い合わせを承ります。また、対象ソフトウェアのトラブルに対し、ログや状況情報にもとづき、対応方法を提案いたします。性能改善のためのお問い合わせも承ります。</li> </ul> </li> <li>障害対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>対象ソフトウェアの障害であると判断した場合には、障害の修正を開発コミュニティに提案いたします。</li> </ul> </li> <li>ニュースメール             <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なニュースメールを配信いたします。PostgreSQL や pgpool-II のリリース情報をお届けします。</li> </ul> </li> <li>ナレッジベース             <ul style="list-style-type: none"> <li>よくあるお問い合わせと回答をナレッジベースとしてまとめ、サポートお客様向けに公開しております。キーワード検索ができるようになっています。</li> </ul> </li> </ul>	<p>本サービスは、様々なオープンソースソフトウェアをご利用になる皆様のために、サポート対象とするソフトウェアをご指定いただきそのソフトウェアについてサポートを行うサービスです。</p> <p>OS に付属でないソースコードからのインストールにも対応いたしますので、お客様の環境に合わせてサポートいたします。</p> <p>特にシステムの中核として利用されているソフトウェアについては手厚くサポートしたいというご要望にお答えするサポートサービスです。</p>	<p>すでに、開発が停止している PHP 4. x は、2008年8月8日メンテナンス終了が決定しており、PHP 5. x への移行が推奨されています。現在、PHP 5 で修正されているいくつかのセキュリティホールが、PHP 4 では修正が発表されておらず、クラッカーからの攻撃のターゲットになる恐れがあります。しかし、PHP 4 から PHP 5 への移行は、プログラム修正・テストなどコストなどの負担がかかります。本サービスは、PHP 5. x の最新バージョンにてセキュリティ修正リリースが発表されるたびに、PHP 4<sub>※1</sub>での状況を調査レポート、回避策の提示、お問い合わせ窓口の開設などを行う年間契約の保守サービスです。</p> <p>※ 1 PHP4 最新版であることを前提といたします。</p>

## ■ トレーニング

STEP UP PostgreSQL 導入トレーニング	STEP UP PostgreSQL 運用管理トレーニング	STEP UP PostgreSQL クラスタシステム構築トレーニング (毎月開催)
<p>開発者/管理者向けの PostgreSQL を使ったシステム構築の基本。</p> <p>日数: 2 日</p> <p><b>概要:</b></p> <p>これから PostgreSQL を使ってみようと思うエンジニアの方や PostgreSQL の概要を知りたい方向けに、PostgreSQL の概要、インストール、設定、基本的な使い方などを実習を踏まえながら解説します。実用的なサンプルデータベースを作成し、その過程でデータベースの基礎と PostgreSQL 独自の機能について学習します。</p>	<p>中・上級者向けの運用管理のポイントとパフォーマンスチューニング。</p> <p>日数: 2 日</p> <p><b>参加利用条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PostgreSQL 導入トレーニング 同等の知識がある</li> <li>Unix/Linux 系 OS の知識がある</li> </ul> <p><b>概要:</b></p> <p>実際に PostgreSQL を利用している方を対象に、データベース管理と効率的に利用するためのパフォーマンスチューニングに必要な知識と技術を解説します。実習を交えることによってより理解を深めることができます。本コースでは PostgreSQL の基本的な使い方については解説いたしません。</p>	<p>pgpool-II を利用したクラスタソリューションの基礎から運用まで。</p> <p>日数: 1 日</p> <p><b>参加利用条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Linux、PostgreSQL の基本的な操作ができる方</li> <li>PostgreSQL 運用管理トレーニング 同等の知識がある方</li> </ul> <p><b>概要:</b></p> <p>昨今、PostgreSQL を利用したシステムの急成長に伴いクラスタ化のニーズが増えてきています。このトレーニングでは、PostgreSQL のクラスタソリューションとして No.1 のダウンロード数を誇る多機能ミドルウェア pgpool-II を利用して、データベースクラスタが 3 ノードの場合におけるレプリケーション、負荷分散、オンラインリカバリを実機を使って学習します。</p>

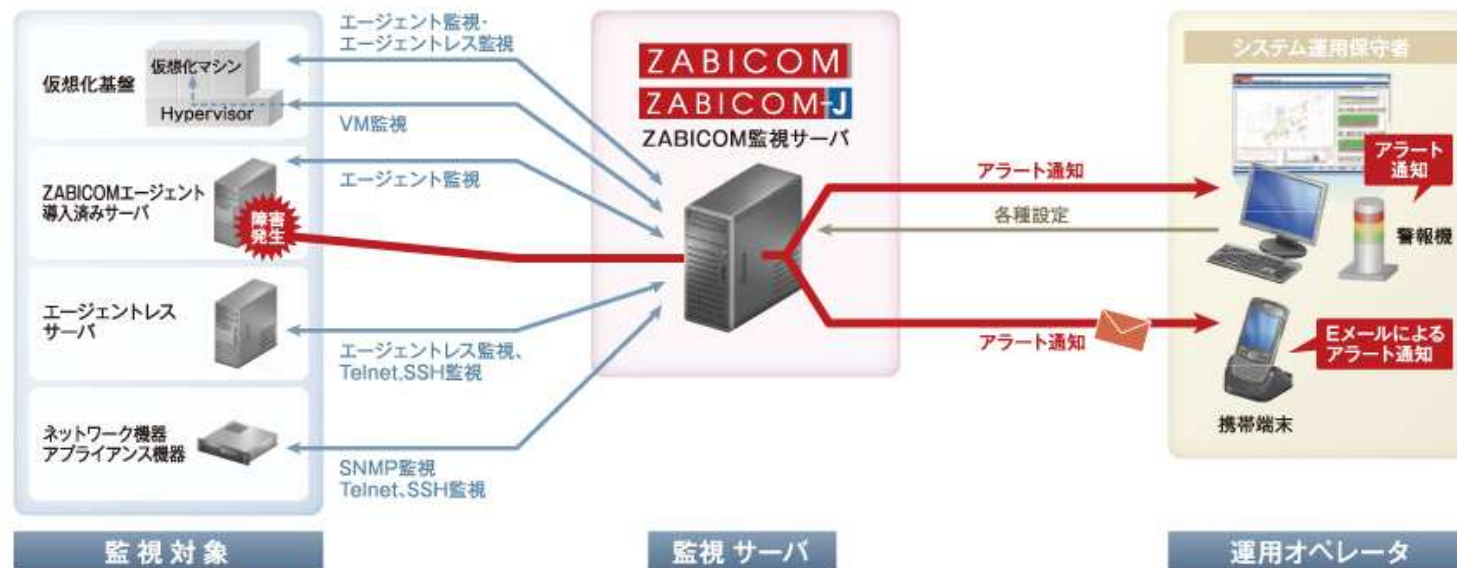
## ■ オープンソースのICTマネジメントシステム「Zabbix/ZABICOM」

### 特長

- ・オープンソースにより低コストでの導入、運用が実現可能
- ・世界規模の大手企業に多数採用される高信頼性

### ポイント

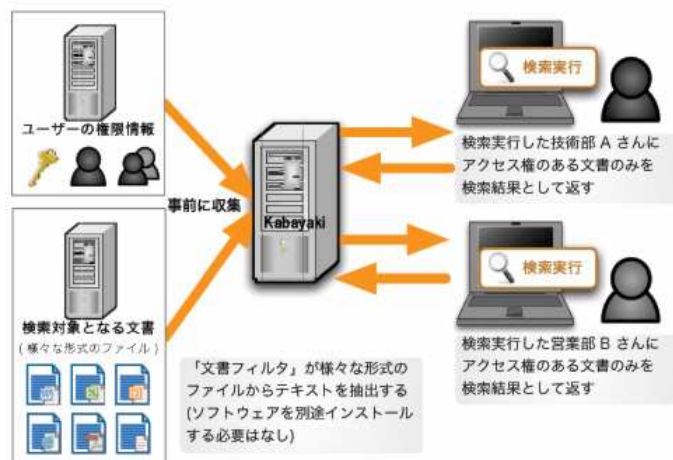
- ・ZABBIX SIA社の世界初のプレミアムパートナー
- ・設計・構築から保守フェーズまで万全のフルサポートを実現
- ・NTTコムテクノロジーによる日本市場向け機能強化
- ・多様な現場ノウハウをきめ細かく柔軟設定、現場力を一層高度化



## 【日本語全文検索システム「Kabayaki」】

### 導入事例：某総研会社様向け 社内文書検索システム

セキュリティを意識した社内資産の有効活用を実現



#### 要望と問題点

各種プロジェクトで蓄積された大量の文書から、必要な文書を迅速に見つけ出すことを希望。事前にインデックスを作成する方式の全文検索システムがもたらす高速検索の導入には興味があったものの、ファイル名や文書の一部が検索結果に表示されることにより、社内の誰が見ることが可能な状況になるのは、セキュリティ上問題があると判断していました。

#### 対応と効果

Kabayaki のインデックスを利用した高速・高精度な検索による快適な知識の共有と有効活用を進めると同時に、Active Directory のアクセス制御と連携するセキュリティ機能を利用することにより、閲覧権限のない利用者には文書の存在自体を不可視とする、セキュアな企業内検索システムとしての運用も可能にしました。

## タイムインターメディアの取り組み

タイムインターメディアでは、オープンソースソフトウェア(以下、「OSS」)を基軸に、開発展開を行なっております。

### OBCI 参加により、TIM社としての目指す方向性

- ・技術面の向上、ユーザ問合せや案件に対する適切な提供
- ・OSSによる適切な知識提供、産業の活性化に向けた市場への浸透
- ・OSSを有効に活用することによるコスト削減やメリット、サービスの2次展開への提案

### お問い合わせ先

会社名: (株)タイムインターメディア  
担当者: 篠原  
メールアドレス: info@kabayaki.jp  
URL: <http://www.timedia.co.jp/>

## Seasar2 サポートサービス／コンサルティングサービス

Javaを使った開発の生産性を高めるために開発されたフレームワークです。



## Slim3 サポートサービス／コンサルティングサービス

Google App Engine/Java 用に最適化されたフルスタックの MVC フレームワーク

## ■ Linux/OSSを活用したエンタープライズソリューションで、プラットフォームニュートラルな環境を提供

### Linux/OSSへの取り組み

- 全てのHWプラットフォームとミドルウェア・ソリューションでLinuxをサポート。お客様のビジネスに最適なプラットフォームが選択できます。
- ディストリビューターと開発者レベルで連携したLinuxサポートサービスを実現。ミッションクリティカルシステムを支える、高品質なサポートをご提供します。

### Linux/OSS活用事例

- OSS仮想化ハイパーバイザーとHadoopによるプライベート・クラウドを構築  
[http://www.ibm.com/jp/provision/no64/pdf/64\\_interview1.pdf](http://www.ibm.com/jp/provision/no64/pdf/64_interview1.pdf)
- 3000台のサーバをメインフレームLinuxで統合してエネルギーコストを約80%削減  
<http://www.ibm.com/jp/press/20070801001.html>
- IBM Power Systems 182台の AIX Samba ファイルサーバを構築  
<http://www.osstech.co.jp/pr/2009-01-13>
- IBMサービス事業でのOSSへの取り組み  
[http://www.ibm.com/jp/provision/no59/pdf/59\\_article5.pdf](http://www.ibm.com/jp/provision/no59/pdf/59_article5.pdf)

### Linux カーネル 2.6.30までの貢献者リスト

Company Name	Number of Changes	Percent of Total
None	26,644	18.2%
Red Hat	17,981	12.3%
Unknown	11,164	7.6%
<b>IBM</b>	<b>11,151</b>	<b>7.6%</b>
Novell	11,046	7.6%
intel		5.3%
Consultant	3,657	2.5%
Oracle	2,513	2.4%
Linux Foundation	2,345	1.6%
SGI	2,317	1.6%

**IBM はHWベンダーでは1位の貢献**

<http://www.linuxfoundation.jp/news-media/announcements/2009/08/wdl>

～ Linux at IBM ～  
IBM Linux/OSS技術情報ポータル

<http://ibm.com/jp/linux/>

オープンソースまるごと

## ■ オープンソースならまるごとOpenStandia



約50種類のオープンソースを、ワンストップでサポート

CentOS	Fedora Core	Debian	OS
FreeBSD	RedHat Enterprise Linux	その他Linux	
MySQL	PostgreSQL		データベース
Apache	Squid	PHP	Web、 スクリプト系
Perl	Ruby on Rails		
Apache Tomcat	Apache Geronimo/WAS CE※	iBATIS	Java系
JBoss Enterprise Application Platform(JBoss EAP)		JBoss ESB	
JBoss jBPM	JBoss luster	JBoss Seam	
JBoss Enterprise SOA Platform	JBoss Enterprise Web Server	JBoss Web Framework Kit	
Struts	Spring	Hibernate	
Seasar2	Apache Axis	GlassFish	
Samba	OpenLDAP	BIND	ネット、 インフラ系
sendmail	postfix	Dovecot	
CVS	Subversion	Heartbeat	
OpenSSO	DRBD	Hinemos	
ZABBIX			
Eclipse BIRT	JasperReports	osCommerce	アプリ系
OpenOLAP	SugarCRM	Liferay	

※WAS CEは「WebSphere Application Server Community Edition」の略です。

今までオープンソースをご利用になった事がないお客様も、すでにご利用のお客様も、安心してご利用になれるサービスラインナップ。また、約50種類ものオープンソースをサポートしています。現在商用で使われているオープンソースのほぼ全てに精通しており、どのようなご質問にも経験と実績からお答えいたします。

### ■ シングルサインオン

OSSベースの統合認証/ シングルサインオン環境を実現します。



### ■ 統合ID管理

OpenSSO、低コストなID管理製品LDAP Managerを活用し、統合ID管理とシングルサインオンを実現



### ■ 企業情報ポータル OpenStandia/Portal

グループ/グローバル規模での情報共有や文書管理可能！



### ■ BIソリューション JasperSoft

オープンソースのNo.1のBIソリューション。レポート、OAP、ダッシュボードなどフル機能！



上記は代表的なソリューションです。詳しくはWEBへ

<http://openstandia.jp/>

## ■ オープンソースへの移行を計画から構築・運用までワンストップサポート

サービス名	サービス内容
OSS適用コンサルテーション	オープンソースを使ったシステム導入を <b>計画・検討</b> 段階から強力にサポート ✓お客様の要件をもとに、最適なオープンソースを選択 ✓商用製品との組み合わせも考慮した適材適所なオープンソースの活用を支援
OSS評価・検証サービス	オープンソースを使ったシステムの導入に向けた <b>事前評価・検証</b> をサポート ✓お客様の要件をもとに、導入予定のオープンソースを評価・検証 ✓バージョンアップによる互換性や移行を検証
OSS移行サービス	商用製品から <b>オープンソースへの移行</b> をご支援 ✓Linux移行サービス ✓オープンソースデータベース移行サービス ✓オープンソースアプリケーションサーバ移行サービス
OSS導入・構築サービス	オープンソースを利用したインフラ基盤の構築や <b>システム開発</b> ✓仮想化、高信頼性、運用管理等の基盤構築からアプリケーション構築まで対応 ✓PHP、Java、Ruby on Rails等を使用したWebシステム開発にも対応
OSSサポートサービス	OSSコミュニティに <b>強い影響力をもつベンダと提携</b> し、多数のOSSをサポート ✓セキュリティホールのアナウンス及び対策版のリリース情報の提供 ✓障害原因を調査し、対処方法をご提案
OSSコードマネジメントサービス	OSSの（再）利用による <b>リスク</b> と問題を <b>回避</b> し、圧倒的な <b>経済的価値</b> を実現 ✓OSS利用による開発技術の革新とコストの削減をサポート ✓OSS利用に伴うライセンス・セキュリティリスクの早期解





- お問い合わせは、事務局まで  
Mail : [obci@nri.co.jp](mailto:obci@nri.co.jp)  
Web : <http://www.obci.jp/>